

# 神大スポーツ

〔箱根駅伝特集号〕

# KU

2019年1月7日 月曜日

発行：神奈川大学  
 協力：神奈川大学体育会本部  
 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
 TEL045-481-5661

# JINDAISPORTS

## 第95回東京箱根間往復大学駅伝競走

# 神大16位



# シード権獲得ならず

6区 荻野太成選手

9区 北崎拓矢選手

総合成績		
順位	チーム	総合タイム
1	東海大学	10時間52分09秒
2	青山学院大学	10時間55分50秒
3	東洋大学	10時間58分03秒
4	駒澤大学	11時間01分05秒
5	帝京大学	11時間03分10秒
6	法政大学	11時間03分57秒
7	國學院大学	11時間05分32秒
8	順天堂大学	11時間08分35秒
9	拓殖大学	11時間09分10秒
10	中央学院大学	11時間09分23秒
11	中央大学	11時間10分39秒
12	早稲田大学	11時間10分39秒
13	日本体育大学	11時間12分17秒
14	日本大学	11時間13分25秒
15	東京国際大学	11時間14分42秒
16	神奈川大学	11時間15分51秒
17	明治大学	11時間16分42秒
18	国土館大学	11時間16分56秒
19	大東文化大学	11時間19分48秒
20	城西大学	11時間19分57秒
OP	関東学生連合	11時間21分51秒
21	山梨学院大学	11時間24分49秒
22	上武大学	11時間31分14秒

新春の1月2日・3日、東京・大手町から箱根・芦ノ湖を往復する「第95回東京箱根間往復大学駅伝競走」(以下、「箱根駅伝」)往路5区間107.5km、復路5区間109.6km、計10区間217.1km)が行われた。

9年連続50回目の節目となる今大会は「準備力を経て、実戦力の実証」をスローガンに掲げチーム作りを行ってきた。多くの主力選手が卒業しフレッシュなチームながら、主将の山藤を中心に「シード権獲得」を目指し日々の練習を積んできた。

1区を任されたのは、前回大会で区間6位の走りをみせた主将の山藤篤司選手(人科・4年)。例年になくゆつくりとしたペースで展開する中、山藤選手は他大学の選手が牽引する集団の後方でペースを進める。17km付近から一気にペースが切り替わりと集団が縦長になり、徐々に遅れ始める。その後も六郷橋の下りで更にスパイトをかけた先頭集団に差を広げられ、トップと47秒差の区間15位で2区へと襷を繋いだ。

エースが集う注目の2区には、3年生の越川堅大選手(人科・3年)が出場。襷を受け取ってからは、果敢に前方の大学を猛追すると徐々に前の大学に詰め寄る。しかしながらペースと中間点を過ぎ、2区最大の山場である権太坂に差しかかると徐々に集団から離されてしまう。その後も最後まで懸命に前を追いかけるが、他校のエースに一步及ばずトップと2分35秒差の15位で襷を繋いだ。

3区に起用されたのは全日本大学駅伝7区で好走をみせた井手孝一選手(人科・2年)。いったんは後続の大学に抜かれるも、淡々と自分のペースを刻みながら前を追いかける。区間の後半に差しかかると、前半にオーバーペースだった大学が徐々に近づいてくる。最終的には2校を抜き順位を1つ上げて14位で4区に襷を繋いだ。

4区を任されたのは前回大会で安定の走りをみせた枝村高輔選手(経済・4年)。気温が上昇する一方、冷たい海風が吹く難しい気象条件の中、前半は他大学の選手と並走しながら積極的に前を追う。しかしながら後半に入ると一気にペースを崩し、後続の追い上げを受けてしまう。最終的には順位を3つ下げて17位で5区へ襷を繋いだ。

5区を走るのには箱根駅伝初出走となる小笠原峰士選手(人科・2年)。シード権獲得に向けて、1つでも順位を上げたい局面だったが、立ち足はかかる箱根の山にペースを乱され、なかなかピッチが上がらない。終始苦しいレース展開となり、先頭と13分10秒差の18位で往路フィニッシュとなった。

復路のスタートとして重要な下りの6区は、前回大会のリベンジに燃える荻野太成選手(人科・3年)。シード権圏内まで6分9秒差、一斉スタートというプレッシャーのなか、序盤から積極的な走りを見せ、区間7位の好走をみせる。時差スタートのため総合順位は変わらず18位だが、前を行く3校を追い抜き12校目での襷リレーとなり、シード権獲得へ望みをつけた。

7区を任されたのは、4年目に急成長を遂げた多和田涼介選手(人科・4年)。走り出して間もなく大集団となると、先頭が目まぐるしく入れ替わる混戦状態のまま、徐々に前との差をつめていく。平塚中継所前のスパイト合戦では、持ち前の切れ味を發揮し、前を行く大学と1分近く差を詰め8区へと襷渡しをおこなった。

8区を任されたのは期待のルーキー安田響選手(人科・1年)。前半は海沿いを走り、後半には遊行寺の坂が待ち受ける難コース。序盤は、初出場の1年生ながら8校の大集団を牽引し、ペースメーカー役を買わされてしまう。後半、遊行寺手前から一気にペースを上げられると集団から遅れをとってしまいうが、持ち前の粘り強さを發揮し、順位の変動なく襷を繋いだ。

復路最長区間9区を任されたのは2年生の北崎拓矢選手(経済・2年)。本年度春からロードレースで活躍しているだけに、期待がかかる。序盤から前を行く集団を積極果敢に追い上げると、地元横浜の大声援も力となり区間4位の大快走となる。復路の走行順では5校を抜き、総合順位を1つ上げ最終10区に襷を託した。

10区を任されたのは最初で最後の箱根駅伝となった佐久間勇起選手(現ビ・4年)。4年目にしてようやく掴んだ箱根路だったが、照り付ける日差しと急激に強さを増す向かい風に苦しめられ、なかなかペースが上がらない。もがきながらも大手町に戻ると、総合順位を1つ上げ16位でフィニッシュした。第95回大会は往路18位、復路11位、総合16位で幕を閉じた。



写真撮影：神奈川大学

# 神大 激走の軌跡

第95回 東京箱根間往復大学駅伝競走

●総合成績 11時間15分51秒 / 16位



写真撮影：神奈川大学

●往路成績

5時間39分41秒 / 18位

1区 山藤篤司選手

1時間03分22秒

区間順位 15位

最後の箱根駅伝でした。個人としてもチームとしても悔しい結果になってしまい、主将として本当に申し訳ないと思っています。今回の悔しさと経験を来季に繋げて必ずシード権を獲得してほしいです。4年間ありがとうございました。



2区 越川堅太選手

1時間09分19秒

区間順位 15位

沢山の応援ありがとうございました。大変悔しい結果で終わりました。まだまだチームとしても個人としても力不足を感じました。次が最後の箱根になるので、強くなって帰ってきます。



3区 井手孝一選手

1時間03分29秒

区間順位 9位

初の箱根駅伝となりましたが、他大学の強い選手達について行けず自分の力不足を感じました。来年は更に力をつけて結果を残せるようにしていきたいです。応援ありがとうございました。



4区 枝村高輔選手

1時間05分34秒

区間順位 21位

初めてチームの主力級の選手が集まる往路区間を経験し、実力不足を痛感する不甲斐ない結果となりました。自分の調子を上げきれずに最後の箱根駅伝でチームの足を引っ張ってしまいました。悔しい気持ちは残りますが、これまで様々な経験することができました。今まで本当にありがとうございました。



5区 小笠原峰士選手

1時間17分57秒

区間順位 22位

応援ありがとうございました。5区を走らせてもらいましたが、自分の走りが全くできずシード権を遠ざけてしまいました。もう一度自分を見つめ直して取り組んでいきます。



●復路成績

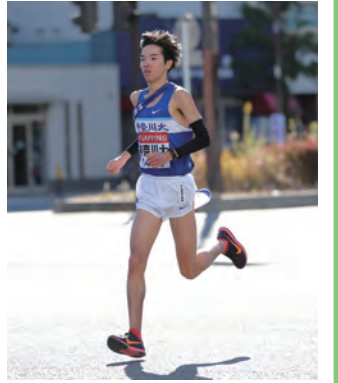
5時間36分10秒 / 11位

10区 佐久間勇起選手

1時間14分16秒

区間順位 20位

最初で最後の箱根駅伝となりましたが、箱根の厳しさ、自分とチームの未熟さを痛感する結果となりました。後輩には今回の経験を活かして、シード権獲得、その上を目指してもらいたいです。温かいご声援ありがとうございました。



9区 北崎拓矢選手

1時間10分17秒

区間順位 4位

9区を走らせてもらいました。はじめての箱根駅伝となりましたが、それ以上に楽しんで走ることができました。また、沿道のたくさんの人から声援をいただき、すごく嬉しく思いました。たくさんの声援をありがとうございました。



8区 安田響選手

1時間07分10秒

区間順位 15位

1年目で箱根駅伝に出場できたことに感謝です。1年生として期待を胸に走れたとは思いますが、遊行寺の坂で離されてしまい力不足を実感しました。また、同郷の選手に負けてしまったことも非常に悔しいので、来年はもっと強くなった姿を見せられるように頑張ります。応援ありがとうございました！



7区 多和田涼介選手

1時間04分58秒

区間順位 14位

最初で最後の箱根駅伝。沿道の声がとても力になりました。全日本駅伝と比べて、箱根駅伝は地元ということもあり声援が多く特別なものでした。区間順位は納得できるものではなかったですが、1年生の安田に走りやすいところで渡せたので良かったです。今後も神奈川大学の応援よろしくお願いします。



6区 荻野太成選手

59分29秒

区間順位 7位

今回は、前回の雪辱を晴らそうという思いで走らせていただきました。「守っても仕方がない、攻めに攻めて走る」というレースプランで、しっかりその走りができたのが良かった点です。後半、足が止まってしまったのは課題だと思います。来年は区間賞を争えるような力をつけて、また箱根でリベンジをしたいと思っています。応援、サポートありがとうございました。

